

主体的な学びを実現する小学校体育科の授業づくり

—チームで取り組む学習活動の設定と課題を自分事化しながら解決するための支援の工夫を通して—

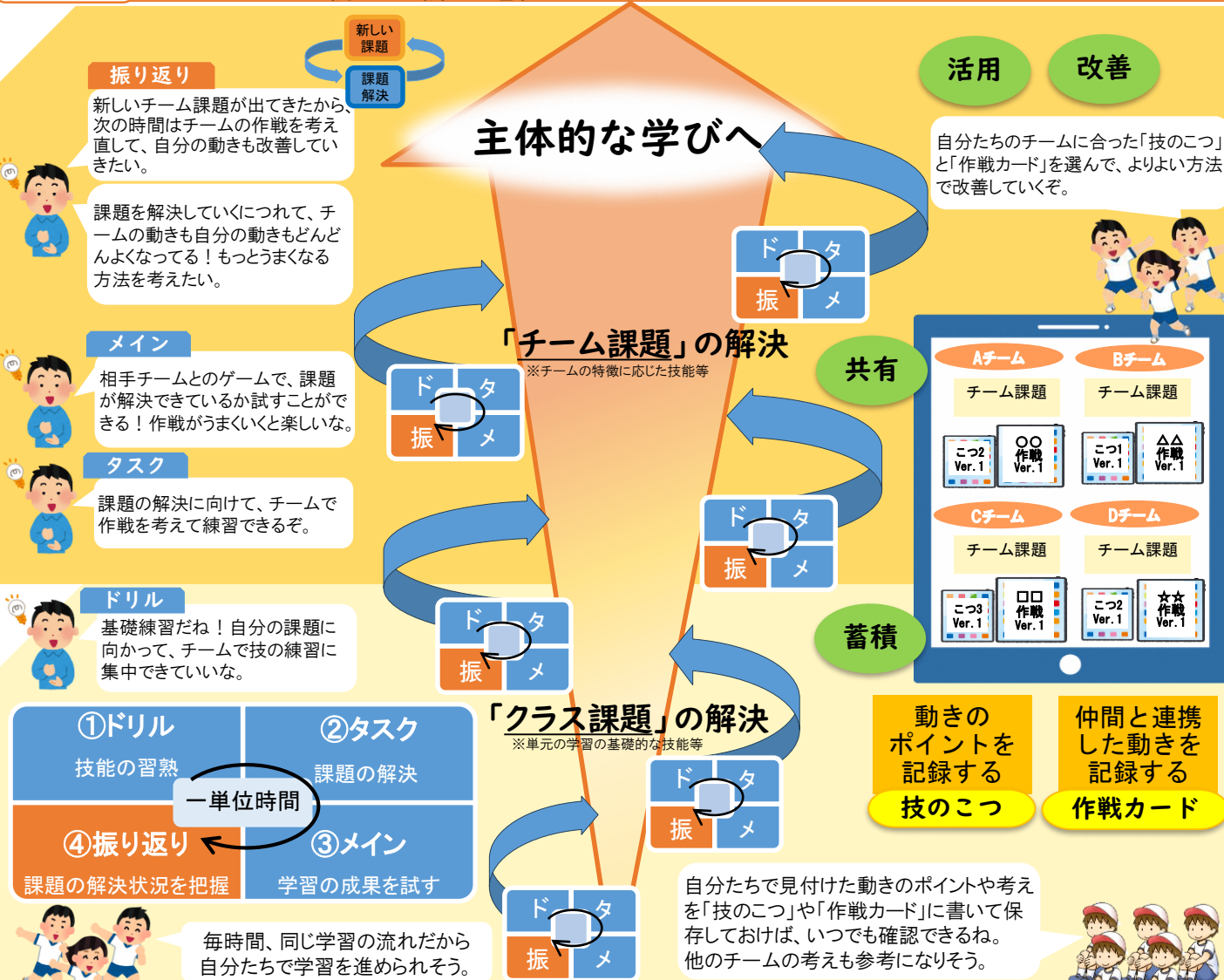
研究の目的

令和6年度 前橋特別研修研究員
前橋市立新田小学校 八高 陽亮

チームで取り組む学習活動の設定と課題を自分事化しながら解決するための支援の工夫を通して、主体的な学びを実現する体育科の授業づくりを目指す。

目指す児童像

課題の解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組み、
新たな課題を見いだすことができる児童



【手立て1】

チームで取り組む学習活動の設定

体育の授業は、児童がチームごとに「ドリル」「タスク」「メイン」「振り返り」の順で活動できるようにします！

【手立て2】

課題を自分事化しながら解決するための支援の工夫

「クラス課題」から「チーム課題」の解決につなげる単元計画の工夫と「技のこつ」や「作戦カード」の導入によって児童の課題解決を支援します！

【児童の実態】

- 活動に意欲的に取り組むことができる
- 習得した技能の個人差が大きい
- 課題を見だし解決する経験が少ない
- 自分の考えをチームの仲間に伝えることが難しい
- 活動の振り返りを次時につなげることが難しい

【指導上の課題】

- 課題や改善点を明確にする振り返り活動に至らない
- 基礎練習に偏り、試合形式の活動の時間が少ない
- 活動量の十分な確保が難しい

【手立て1】チームで取り組む学習活動の設定

体育科 第5学年「バスケットボール」全7時間

準備運動

基本のパス練習

攻撃と守備に分かれてゲーム練習

めあて
「チームに合う作戦を選んで、練習し、ゲームで試そう」
【第5時】Aチームの課題「味方にパスをつなげる」



チーム課題の解決に向けて、「技のこつ」や「作戦カード」を活用しましょう。



パスをもらえるように走って、ゴール下に回り込むよ。

「ワンバン作戦」で敵の取りにくいところにパスを出すよ。



まずは2人組で静止してパス練習だ！今日はワンバンパスも入れよう。

①ドリル

技能の習熟

②タスク

課題の解決



新しい課題

今回は、ワンバンパスが通るように、相手から離れてフリーになる動きをしたい。

今日はチームでワンバンパスを作戦にしたけど、難しかった。もらう位置を考えたい。

全体で次回の活動を共有

④振り返り

課題の解決状況を把握

相手と距離を取るとワンバンパスが出しやすいね。

③メイン

学習の成果を試す

相手が近くて、ボールがもらえない。

相手がいるとワンバンパスでも出しづらいな...



ゴール下ならボールをもらえそう。

チーム・個人の振り返りと全体共有

課題解決

相手チームと試合

【手立て2】課題を自分事化しながら解決するための支援の工夫

「クラス課題」の解決

【第2時】クラス課題「シュートのこつを見付ける」

【第3時】クラス課題「パスのこつを見付ける」

たくさん点を取るためには？

今日のクラス課題は「シュート(パス)のこつを見付けよう！」ですね。



パスをつなげる！

シュートを上手にする！



技のこつ



作戦カード

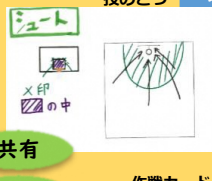
「チーム課題」の解決

【第5時】Bチームの課題「パスをつないでシュートをする」

ドリル



技のこつ



タスク



メイン



振り返り



共有
活用

今日はシュート練習から始めよう。得点につながるように、ゴールをねらってシュート！



「みんな動く」作戦だ！相手がいらないスペースにパスを出すよ。

教師はタブレット上で、それぞれのチーム課題と活用している「技のこつ」や「作戦カード」を把握し、課題に沿って支援します。

(相手がいらないスペースに動く) こっちにパスして！パスをもらえたらシュートできる！

改善

パスからシュートにつながる動きも「作戦カード」に入れよう。

【成果と課題】

- 「ドリル」から「振り返り」までをチームで取り組む学習活動として設定したことで、児童は毎時間、見通しをもって課題の解決に迫るとともに、新たな課題を見いだすことができた。
- 「クラス課題」から「チーム課題」の解決につながる単元計画の工夫と「技のこつ」や「作戦カード」の活用により、課題を自分事化し、課題の解決に向けて粘り強く取り組むことができた。
- ◇児童の実態に沿ったルールや教材の選定、学習活動の時間配分に配慮する必要がある。